

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	中国語
科目基礎情報						
科目番号	0009		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	経営情報学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書：『日中いぶこみ交差点』相原茂・陳淑梅・飯田敦子著（朝日出版社）辞書：『はじめての中国語学習辞典』相原茂著（朝日出版社）					
担当教員	畑村 学,野村 和代					
到達目標						
1. 中国語をピンインと声調符号を使い、正しく読める。 2. コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を習得している。 3. 相手の問いを理解し、それに対して適切に答えを返せる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安		
評価項目1	中国語をピンインと声調符号を使い、8割以上読める。	中国語をピンインと声調符号を使い、7割以上読める。	中国語をピンインと声調符号を使い、6割台読める。	中国語をピンインと声調符号を使い、6割読めない。		
評価項目2	コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を8割以上習得している。	コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を7割以上習得している。	コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を6割台習得している。	コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を6割習得していない。		
評価項目3	相手の問いを理解し、それに対して8割以上適切に答えを返せる。	相手の問いを理解し、それに対して7割以上適切に答えを返せる。	相手の問いを理解し、それに対して6割台適切に答えを返せる。	相手の問いを理解し、それに対して答えを返すことが6割に満たない。		
学科の到達目標項目との関係						
JABEE (f) 教育目標 (G) ②						
教育方法等						
概要	難しそうというイメージもあるかと思うが、まずは中国語の1つ1つの音をマスターする事から始めるので心配せず、学び始めて欲しい。その後はテキストに沿って、コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を学んでいく。第2学期には台湾からの実習生が授業に参加するので、学んだ事をすぐに実践に活用できる利点がある。					
授業の進め方・方法	週に一度、授業時に教科書を開くだけでは新しい言葉を自分のものにはできない。せっかく学ぶからにはきちんとマスターして欲しいので、家庭学習を重視する。授業時にテキストで学んだ内容をすぐに練習するという形で進め、より多く、元気に口に出して発音し、より多くの問題をこなし、中国語の発想に慣れていってもらおう。 なお、交流協定を結ぶ台湾国立聯合大学及び文藻外語大学から教育実習生を受け入れ、ネイティブの発音を学ぶとともに、会話練習を実践的に行う。					
注意点	殆どの学生にとって初めて学ぶ言葉になると思うが、使える中国語にするには初めが肝心。ただ、この作業は単純な発音のくり返しになるので、辛抱強く、元気に真剣に取り組まなければうまくならない。ここをクリアする事が第一歩なので、自分自身のやる気と根気が必要である。その後も地道に1つ1つの項目の積み重ねが重要で、一気に上手になる事はないが、皆が思っている以上に、就職しても進学しても中国語を使う場面は多いし、コミュニケーション力を鍛える事は技術者としても社会人としても大切なことなので、頑張って欲しい。 教科書購入は必須。テキストやプリントなど授業時に必要なものを忘れて、中国語以外のことをやっているとか減点の対象になるので、集中して授業に臨むこと。 授業時にきちんとやっていれば問題ないレベルの出題で試験を実施するので再試はしない。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	概説：中国に関する基礎知識を学び、これからの中国語学習に必要な語句を習得する。	自分が学ぶ中国語とはどういうものか理解し、中国語を学ぶために必要な知識を習得する。		
		2週	発音編1：声調・単母音	声調と単母音を正しく聞き取り、発音し、声調符号・ピンインを書くことができる。		
		3週	発音編2：単母音・子音（1）	単母音と子音を正しく聞き取り、発音し、声調符号・ピンインを書くことができる。		
		4週	発音編3：子音（2）	子音を正しく聞き取り、発音し、声調符号・ピンインを書くことができる。		
		5週	発音編4：子音（3）・複母音（1）	子音と複母音を正しく聞き取り、発音し、声調符号・ピンインを書くことができる。		
		6週	発音編5：複母音（2）・鼻母音（1）	複母音と鼻母音を正しく聞き取り、発音し、声調符号・ピンインを書くことができる。		
		7週	発音編6：鼻母音（2）	鼻母音を正しく聞き取り、発音し、声調符号・ピンインを書くことができる。		
		8週	中間考査 発音編7：轻声・声調の組み合わせ・r化音・変調・隔音マーク	発音編のまとめとして、中間考査を実施する。 中国語を発音するのに必要な轻声やr化音、「一」「不」の変調を習得する。		
	2ndQ	9週	第5課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。		
		10週	第5課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。		
		11週	第6課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。		
		12週	第6課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。		
		13週	第7課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。		
		14週	第7課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。		

後期		15週	期末試験	第5課～第7課の内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。
		16週	試験返却	前期の内容を再確認する。
	3rdQ	1週	第8課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		2週	第8課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		3週	第9課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		4週	第9課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		5週	第10課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		6週	第10課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		7週	中間考査 年月日曜日・時刻の聞き取り	第6課～第10課の内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。第9課で学んだ数字を使い、当該の表現ができ、聞き取ることができる。
		8週	第11課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
	4thQ	9週	第11課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		10週	中国のお正月について学ぶ	中国と日本のお正月の違いや中国人の伝統的なシンボルを理解する。
		11週	第12課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		12週	第12課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		13週	第13課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		14週	第13課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。
		15週	学年末試験	第11課～第13課の内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。
		16週	試験返却 授業改善アンケート	1年間の学習事項を再確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	練習問題提出	合計	
総合評価割合		74	26	100	
知識の基本的な理解		74	26	100	
思考・推論・創造への適応力		0	0	0	
汎用的技能		0	0	0	
態度・志向性		0	0	0	
総合的な学習経験と創造的思考力		0	0	0	